

令和元年度（2020年度）北海道創生プラットフォーム 登録プロジェクト一覧

市町村名	プロジェクト名	概要
旭川市	テレワークによる柔軟な働き方と首都圏・地方の就業交流事業	旭川市では、テレワークにより、市内企業の労働生産性と育児・介護や障害等の理由で就業を希望するものの就業や求職活動を行えない潜在的労働者の活用を図り取組を進めているところ。 また、市内企業のテレワーク導入率が5.2%、副業容認が11.1%と普及が進んでいないため、柔軟な働き方に理解のある首都圏企業と連携し、市内企業への波及の契機となるモデル事例を創出したい。
当別町	当別町テレワーク推進事業	札幌市に隣接し、かつ抜群の交通アクセスを有する好立地を活かし、「ゆとり」「快適さ」「便利さ」が調和した環境で心身ともに充実したワーク・ライフ・バランスの実現を目指すとともに、当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げている「まちに人を呼び込む定住・交流の促進」を実現するために「人」「仕事」「企業」の流れを本町に呼び込み、移住促進やサテライトオフィスの誘致を目指し、テレワークの環境を整備するにあたり、企業のノウハウを生かしながら進めたい。
沼田町	「クラウド15号」復活運転（仮）	役目を終えたSLがもう一度走る姿を見せることで、鉄道の復興・地域の活性化を目指すもの。昭和40年代に閉山となった炭鉱の歴史や、廃線となった私鉄や国鉄の歴史を振り返り、全国で公共交通の重要性を考える契機とするため、JR石狩沼田駅から約13キロメートル離れた「ほろしん温泉ほたる館」の向かいで静態保存・展示されている「クラウド15号蒸気機関車」を走らせる技術を持つ人材を求めている。
鷹栖町	空き家活用を牽引する新組織の経営人材の募集	人口減少と高齢化により市街地、農村部それぞれコミュニティの活力低下が懸念される中、鷹栖町の農業資源を基軸に地域の活力を創出していくことを通じて、空き家の流通を促進するもの。 農業資源を基軸にするため、地方の課題や農業、農村に関心のある都市部の人、企業をターゲットとして鷹栖町に長期的に関わる人づくりに取り組み、空き家を地域資源として活用したいと考えており、この取り組みを運営する、組織の経営ノウハウを持つ人材を求めている。
礼文町	礼文島 WAKKA プロジェクト	町が漁業に立脚して発展を遂げてきた一方、その他の地域資源を活用した取組が十分ではない。他方、地域にある閉塞感やマンネリ感は、新たな起業や地域振興につながるイノベーションに繋がる取組になっていないため、活躍世代を中心としたこれまでにない取り組みを行い、商工業振興の原動力となる起業や雇用、更には移住定住の足掛かりを作るもの。 島内外の活躍世代を中心とし、礼文島が持つ水資源を活用した商品開発（酒等）等のプロジェクト（NPO）を立ち上げるにあたり、NPO運営のや酒づくり等のノウハウを持つ人材を求めている。
更別村	十勝さらべつ熱中小学校プロジェクトによる人材育成 日本一から「世界一」の農業・まちの実現に向けた取り組み	人口減少や加速度的な少子・高齢化の進行に伴い、基幹産業である農業の担い手となる農家戸数が減少し、“むら”の崩壊が目前に迫っているなか、地域の存続(経済循環)には、農業活性化が不可欠である。農業の活性化に向けて、市場優位性の高い商品開発や、先進技術の普及・拡大、人材・ノウハウ不足等の課題に対応すべく、連携企業を誘致し、society5.0の実現に向けた持続可能性・横展開性のあるまちづくりを強力に推進する他、企業との連携・協働、していきたい。

※プロジェクトの概要は、今後変更になることがあります。